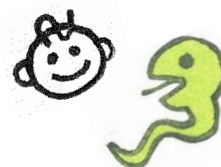


なかよく
たっしやて
きはる子

初春のお慶びを
申し上げます



今年もよりいっお願いす
令和7年 1月

新しい年の始まりに 思うこと



ところで、今年は巳年（みどし、へびどし）です。へビと言えばクネクネと前へ進むイメージですが、ふと、「急がば回れ」という言葉が頭に浮かびました。もともとは、“近道をして危険な目に遭うよりも、遠回りをしてでも安全で確実な道を選んだ方がよい”という意味ですが、“目標に向かう道すじはまっすぐじゃなくてもいいんじゃない？”という、何かそういうニュアンスで心に浮かんできました。



“曲がりくねっている”という意味の言葉で、「紆余曲折（うよきよくせつ）」も思い浮かびました。

子どもたちがこれから歩く道は紆余曲折があり、スムーズに事が進んだり困難に出会ったり、様々な喜びや悲しみにも出会ったりしながら進んでいくのだと思います。大切なのは、その都度“正しい”判断をして行動することではないでしょうか。ここで言う“正しい”は、自分にとって正しいのか社会にとって正しいのかを考えないといけないとは思いますが、決して「自分だけが正しい」にはならないでほしいです。そのための判断材料を家族や周りの友達、大人から吸収し、それをうまく活用する判断力を、学校だけでなく各家庭や地域で身につけてほしいと思います。

子どもたちの未来のために、
今年もどうぞ、
ご協力よろしくお願いいたします。



大きな筆で、元気よく！

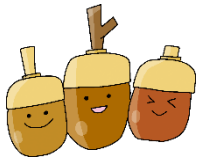
12月12日（木）、1・2年生が6年生に教えてもらいながら書き初めをしました。筆で書くと、ひらがなでも難しく、それでも紙いっぱいの元気な作品に仕上げました。





雪の下でも元気に育て！

色彩豊かな楽しい花壇になるようにと、委員会活動で花壇のデザインを考え、12月16日（月）に委員会の5・6年生、有志の子どもたちがボランティアの方々と一緒に花苗の植え替えをしました。もうすぐ雪の下になるけれど、元気に育ててほしいです。ボランティアの方々には、ポットとスコップの水洗いまでお世話になりました！



未来の森をつくる どんぐりプロジェクト

12月6日（金）、6年生がどんぐりプロジェクトの最終段階として、植樹活動を行いました。このプロジェクトは、太陽生命さん・市森林水産課・くつきの森の方々など多くの方が関わってくださっている活動で、今年で11年目になります。3年生でどんぐりを拾って土にまき、4年生でポットを移し替え、5年生では森林の働きについて学習し、6年生で苗を森に返します。その後20年ほど育て、シイタケ栽培の原木となるそうです。

植樹のあと学校で4年間の活動をスライドで振り返りました。3年生の時のみんなの笑顔がまぶしく、本人たちも参加して下さった保護者の方もニコリでした。

式典の最後に、くつきの森の海老沢さんが、「20年後みんなでシイタケの菌植えをして、そのまた数年後にシイタケと一緒に食べたいね。」とお話をしてくださいました。私が印象に残ったのは、「苗は、どんぐりから芽を出し後、ポットからポット、ポットから土へと育つ場所が変わっていく。そのたびに根っこはいろいろな生物と出会う。それはどんぐりにとって試練だ。」という話でした。“これって、人間の人生と同じじゃん。”と思い、改めてどんぐりプロジェクトの活動の“深さ”を感じました。



10/24 3年
森の中での活動(どんぐりひろいなど) どんぐりの標本づくり どんぐりの種まき



10/25 4年
根が張るように小さいポットから大きいポットへ苗の植え替え



10/25 5年
森林、木々の役割の学習



12/6 6年
親子での植樹、記念になりました。



11期生の6年生の皆さん、32歳になっても健康で、そして笑顔でいてください。

